授業科目　装具実習Ⅱ（下肢装具実習Ⅰ）

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	義肢装具自立支援学科
坂井一浩，阿部 薫，福田弘和	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	3	時間数	135

【<概要>又は<一般目標：ＧＩＯ>】

下肢装具の処方と使用目的および対象者の個別条件に基づいて設計された装具を，対象者へ正しく適合するのに必要な技術を習得する．

【<学習目標>又は<行動目標：ＳＢＯｓ>】

1. 対象者の安全性とプライバシー，および義肢装具士の作業効率に配慮した作業環境を設定できる．
2. 装具の設計に必要な，対象者に関する情報収集作業を的確に行える．
3. 採寸・採型など，装具適合部位の形状獲得作業が的確に行える．
4. 上記によって得られた身体部位の型に施す修正作業が的確に行える．
5. 目的に応じた材料・コンポーネントの選択が的確に行える。
6. 安全で効率の良い製作作業を行うことができる．
7. ﾁｪｯｸ・ｱｳﾄ・ﾌﾟﾛﾄｺｰﾙに従って，装具の仮合せおよび最終適合判定を的確に実践できる．
8. 下肢装具不適合に対処できる．

回数	授業計画又は学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	足装具実習：採寸・採型	1-3	教員デモと学生による実習
2,3	：陽性モデル修正とインソール製作	4-6	
4	：適合チェック・アウトと問題解決	7,8	
5	短下肢装具実習Ⅰ：採寸・採型	1-3	教員デモと学生による実習
6	：陽性モデル修正	4	
7	：プラスチック成形とトリミング	5,6	
8	：適合チェック・アウトと問題解決	7,8	
9	短下肢装具実習Ⅱ：採寸・トレース・修正	1-4	教員デモと学生による実習
10	：金属製コンポーネントの加工	5,6	
11	：金属製コンポーネントの組み立て	5,6	
12	：適合チェック・アウトと問題解決	7,8	
13	PTB短下肢装具実習：採寸・採型	1-3	教員デモと学生による実習
14	：陽性モデル修正	4	

【使用図書】	<書名>　<著者名>　<発行所>　<発行年・価格・その他>
教科書（必ず購入する書籍）	なし
参考書	『装具Ⅱ（下肢装具Ⅰ）』に準ずる．
その他の資料	必要に応じた資料を配布する．

【評価方法】	【履修上の留意点】
授業内容が実習および製作品に反映されているかについて評価する．	並行して開講される『装具Ⅱ（下肢装具Ⅰ）』では理論を，また，本科目では実習を通じて技術を習得する．

義肢装具自立支援学科　専門